

電気協組  
台事業  
仙台工

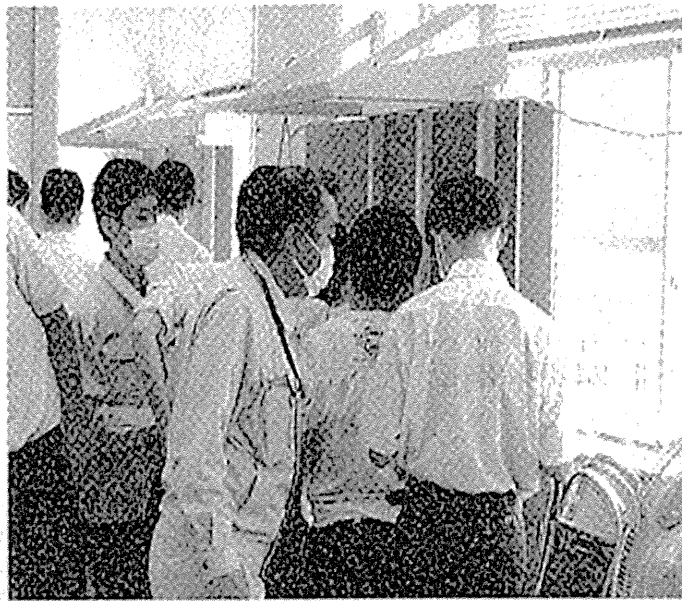
## 仙台工高で約70人が受講

### 電気工事施工講習会

仙台電気工事業協同組

た。

合青年部会（堀内祥弘会長）は4日、仙台市立仙台工業高等学校で、8回目となる電気工事施工講習会を開いた。同校の電気科2年生約70人が受講。青年部会の6人が分かりやすく手順などを説明しながら、作業を行っ



この講習会は、電気科の授業の一環として実施しているもの。交流事業を通して、目に見えにくい「電気工事業」を知ってもらうため、技術を目的で披露するほか、電気工事技術者・電気工事会社経営者との意見交換を行い、将来の技術者育成を目的としている。

堀内青年部会長は「授業を通して、電気工事に触れて、1つでも多くの電気知識・技術を習得してほしい。実際の電線などに触れ、電気業界に興味を持ってくれたら

うれしい」とあいさつした。

授業では、佐藤均青年部会副会長（塚田電気工事）が講師を務め、複線結線図の作図や、家の壁に見立てた木製品へのボード貼り付け、ボード開口、点灯試験までを行った。実際に作業を体験した奥山広人さんは「高校を卒業したら就職する予定。業種を決めかねているので、今回の実践授業により選択肢が増えた。座学と実践ではイメージが違い、上手にできなかつた。やはりプロは凄い」と話した。

同校の教員らは「実践授業を体験した生徒は、進路に対しての取り組み意識が高くなる。忙しい中、授業を行ってくれる青年部会には本当に感謝する」と謝意を示した。今回の授業で使用した電設部材は、岡田電気産業が無償提供した。